5　保健体育

| 学校番号 | T2101 |
|---|---|

# 平成３１年度　保健体育科

| 教科 | 保健体育 | 科目 | 体育ｋ | 単位数 | 1 | 年次 | １～４ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 現代高等保健体育　改訂版　（大修館） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・一般コースが中心の授業です。

・スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるように学習します。

・知識で理解し、実際に実践を通して体を動かすことの楽しさを実感します。

## 2 学習の到達目標

・心と体を一体として捉え、健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。

・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面だけでなく日常生活で生かせるよう、ライフステージと健康について知識や理解を深めるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断 | c:運動の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。<br>健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。<br>結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。<br>公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。 | 知識を活用し、技能向上につなげる。<br>自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。<br>運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。<br>学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。 | 記録や技能向上に挑戦する。<br>運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。<br>仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。 | 運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。<br>スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。 |
| 評価方法 | 受講態度の観察<br>ノート<br>レポート<br>等 | ノート<br>レポート<br>体育理論のテスト<br>等 | 技能観察<br>ノート<br>等 | ノート<br>レポート<br>体育理論のテスト<br>等 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 単元 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 前期 | 実施せず | | | | | | | |
| 後期(10月～12月) | 体育理論 | オリエンテーション<br>運動・スポーツの文化的特徴<br>運動・スポーツの学び方<br>豊かなスポーツライフの設計 | ○ | ○ | | ○ | a:スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について、意見交換や自身の考えを発表するなどの活動を通して、学習に自主的に取り組もうとしている。<br>b:スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について、必要な情報を比較したり分析したりしてまとめた考えを説明できる。<br>d:スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について、言ったり書きだしたりしている。 | 受講態度の観察<br>ノート<br>レポート |
| 後期・(1月・2月) | 実技 | ニュースポーツ等の実施 | ○ | | ○ | ○ | a:ニュースポーツ等の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとすること、自己責任を果たそうとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすることなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。<br>b:生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。<br>c:球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。<br>d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。 | 受講態度の観察<br>ノート<br>レポート<br>技能観察 |

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断
c:運動の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。